T&D保険グループ

平成２５年２月１２日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２５年３月期第３四半期決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２５年３月期第３四半期（平成２４年４月１日～平成２４年１２月３１日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、５兆２，６４２億円、前年同期から２．１％の増加。
○**解約失効高**は、３兆９６１億円、前年同期から５．３％の減少。
○**保有契約高**は、５９兆７１４億円、前年度末から１．１％の増加。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、１兆７，４２５億円、前年同期から１０．４％の増加。
　うち**保険料等収入**は、１兆４，３０３億円、前年同期から１４．１％の増加。
○**経常利益**は、９７２億円、前年同期から９．３％の増加。
○**四半期純利益**は、３９５億円、前年同期から２２５．０％の増加。

通期業績予想

○**通期業績予想**の修正はありません。

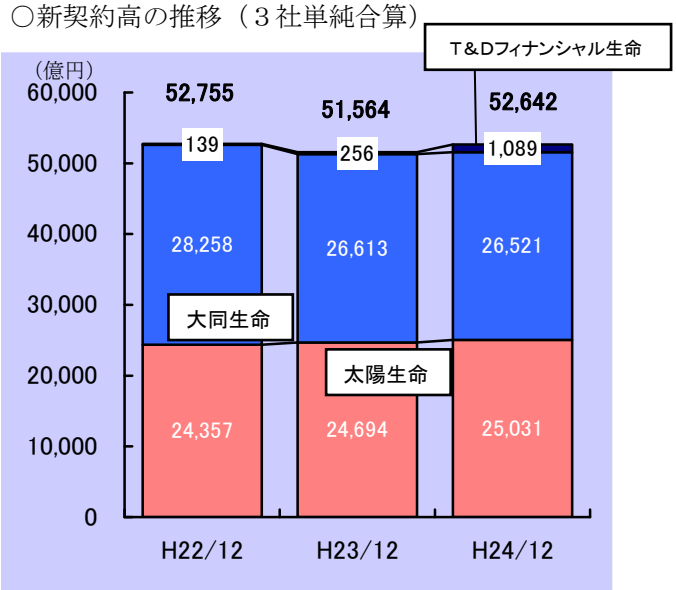
以　上

【お問合せ先】

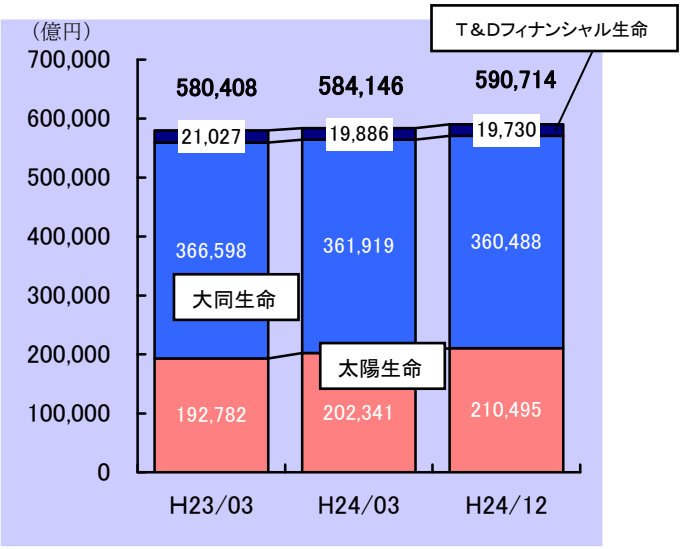
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　今井・松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　西岡　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比
新契約高	52,642	1,078 増 (2.1%増)	25,031	337 増 (1.4%増)	26,521	92 減 (0.3%減)	1,089	832 増 (324.8%増)
解約失効高	30,961	1,728 減 (5.3%減)	9,322	248 増 (2.7%増)	21,028	1,978 減 (8.6%減)	610	2 増 (0.3%増)
（解約失効率）			(4.61%)	(0.10ポイント低下)	(5.81%)	(0.47ポイント低下)	(3.07%)	(0.18ポイント上昇)
新契約年換算保険料	1,214	232 増 (23.7%増)	602	125 増 (26.4%増)	530	42 増 (8.7%増)	81	64 増 (376.8%増)
うち医療保障・生前給付保障等	120	12 増 (11.8%増)	49	4 減 (7.9%減)	70	17 増 (31.7%増)	0	0 増 (13.0%増)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（単位：億円）

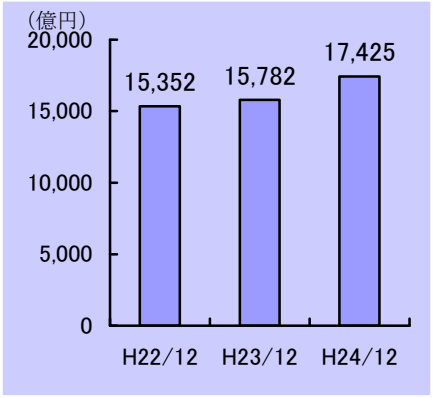
	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末比	当第３四半期末	前年度末比	当第３四半期末	前年度末比	当第３四半期末	前年度末比
保有契約高	590,714	6,567 増 (1.1%増)	210,495	8,154 増 (4.0%増)	360,488	1,430 減 (0.4%減)	19,730	155 減 (0.8%減)
保有契約年換算保険料	14,340	319 増 (2.3%増)	6,289	219 増 (3.6%増)	6,316	81 増 (1.3%増)	1,733	17 増 (1.0%増)
うち医療保障・生前給付保障等	1,608	3 増 (0.2%増)	1,016	28 減 (2.7%減)	554	34 増 (6.7%増)	38	2 減 (7.1%減)

■　３社単純合算
- **新契約高**は、５兆２，６４２億円、前年同期から２．１％の増加。
- **解約失効高**は、３兆９６１億円、前年同期から５．３％の減少。
- **保有契約高**は、５９兆７１４億円、前年度末から１．１％の増加。

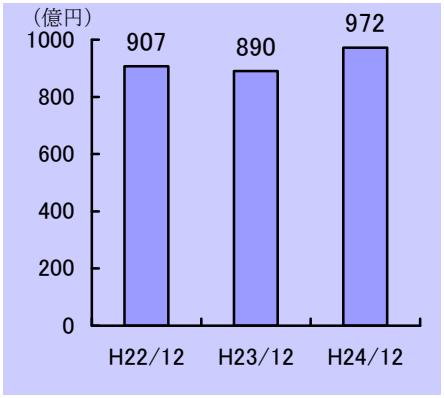
■　各社の状況
- **太陽生命の新契約高**は、２兆５，０３１億円、前年同期から１．４％の増加。
  また、保有契約高は、２１兆４９５億円、前年度末から４．０％の増加。
- **大同生命の新契約高**は、２兆６，５２１億円、前年同期から０．３％の減少。
  なお、主力商品の一つである「Ｊタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額３，２５７億円を加算した金額でみた場合、２兆９，７７９億円、前年同期から３．４％の増加。
  また、同じ基準でみた保有契約高は、３６兆７，２１４億円となり、前年度末から１，６４０億円の増加。
  ※　「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- **Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、１，０８９億円。
  これは主に、「生涯プレミアム・ジャパン（定額一時払終身保険）」の販売増加による。

［損益関係］

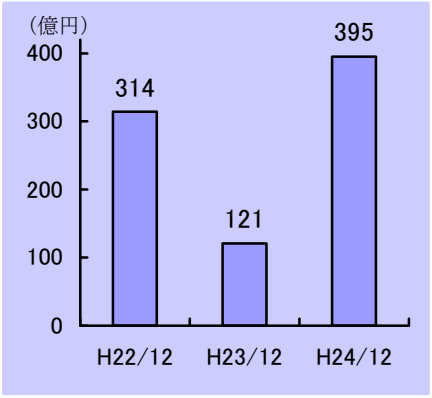
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



（単位：億円）

	T＆Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T＆Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
経常収益	17,425	1,642 増 (10.4%増)	9,167	760 増 (9.0%増)	6,602	740 減 (10.1%減)	1,527	461 増 (43.2%増)
うち保険料等収入	14,303	1,770 増 (14.1%増)	7,657	871 増 (12.8%増)	5,484	111 増 (2.1%増)	1,153	785 増 (213.5%増)
うち資産運用収益	2,606	16 増 (0.6%増)	1,397	94 減 (6.3%減)	976	12 減 (1.2%減)	276	107 増 (63.5%増)
うちその他経常収益	515	144 減 (21.9%減)	113	16 減 (12.5%減)	141	839 減 (85.6%減)	97	431 減 (81.5%減)
うち責任準備金戻入額	―	16 減 (100.0%減)	―	― (―)	―	731 減 (100.0%減)	―	439 減 (100.0%減)
経常費用	16,452	1,560 増 (10.5%増)	8,704	798 増 (10.1%増)	6,165	719 減 (10.5%減)	1,465	316 増 (27.5%増)
うち保険金等支払金	10,166	1,353 減 (11.8%減)	5,064	250 減 (4.7%減)	4,361	1,119 減 (20.4%減)	737	15 増 (2.1%増)
うち責任準備金繰入額	3,319	3,319 増 (―)	2,205	1,050 増 (91.1%増)	555	555 増 (―)	558	558 増 (―)
うち資産運用費用	799	472 減 (37.1%減)	383	68 減 (15.1%減)	382	129 減 (25.4%減)	67	288 減 (81.2%減)
経常利益	972	82 増 (9.3%増)	463	37 減 (7.6%減)	437	21 減 (4.6%減)	62	144 増 (―)
特別利益	2	0 減 (21.7%減)	1	1 増 (―)	0	2 減 (84.9%減)	―	― (―)
特別損失	187	49 増 (36.1%増)	111	1 増 (1.1%増)	62	39 増 (173.4%増)	13	9 増 (224.6%増)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	224	3 増 (1.7 増)	119	0 減 (0.2%減)	105	3 増 (3.8%増)	△0	0 増 (52.7%減)
税引前四半期純利益	563	28 増 (5.3%増)	234	37 減 (13.7%減)	270	66 減 (19.8%減)	48	135 増 (―)
法人税等合計	165	245 減 (59.7%減)	67	114 減 (62.7%減)	76	154 減 (66.9 減)	14	25 増 (―)
四半期純利益	395	273 増 (225.0%増)	166	77 増 (86.5%増)	193	88 増 (83.4%増)	34	110 増 (―)

（参考）

資産運用関係収支 （一般勘定）	1,613	72 減 (4.3%減)	1,014	26 減 (2.6%減)	590	100 増 (20.5%増)	19	147 減 (88.2%減)

（注）１．Ｔ＆Ｄホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は１兆 4,295 億円（前年同期比 14.1%増）です。
３．特別損失（187 億円）のうち、166 億円は価格変動準備金への繰り入れです。（太陽生命：106 億円、大同生命：59 億円、TDF 生命：0 億円）
４．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、１兆７，４２５億円、前年同期から１，６４２億円の増加。
　これは主に、３社の保険料等収入が増加したことによる。
・**経常利益**は、９７２億円、前年同期から８２億円の増加。
　これは主に、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命での変額個人年金保険の最低保証収支の改善による。
・**四半期純利益**は、３９５億円、前年同期から２７３億円の増加。
　これは主に、経常利益の増加および前年同期には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったため。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、９，１６７億円、前年同期から９．０％の増加。
・**保険料等収入**は、７，６５７億円、前年同期から１２．８％の増加。
　これは主に、銀行窓販等による。
・**経常利益**は、４６３億円、前年同期から７．６％の減少。
　これは主に、資産運用関係収支（一般勘定）が減少したこと、および前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことによる。
・**四半期純利益**は、１６６億円、前年同期から８６．５％の増加。
　これは主に、前年同期には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったため。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、６，６０２億円、前年同期から１０．１％の減少。
　これは主に、責任準備金が前年度の戻入から繰入に転じたため。
・**保険料等収入**は、５，４８４億円、前年同期から２．１％の増加。
・**経常利益**は、４３７億円、前年同期から４．６％の減少。
　これは主に、前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことによる。
・**四半期純利益**は、１９３億円、前年同期から８３．４％の増加。
　これは主に、前年同期には法人税率低下に伴う繰延税金資産の取崩しがあったため。

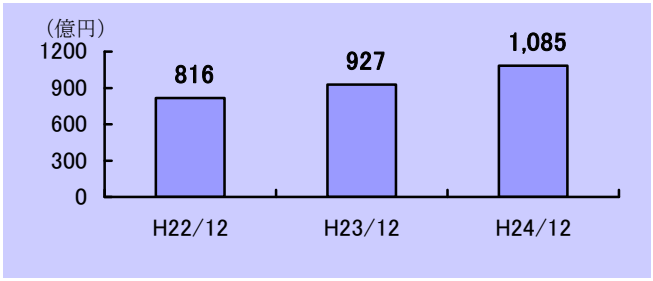
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、１，５２７億円、前年同期から４３．２％の増加。
・**保険料等収入**は、１，１５３億円、前年同期から２１３．５％の増加。
　これは主に、新契約高の増加による。
・**経常利益**は、６２億円、前年同期から１４４億円の改善。
　これは主に、変額個人年金保険の最低保証収支の改善による。
・**四半期純利益**は、３４億円、前年同期から１１０億円の改善。

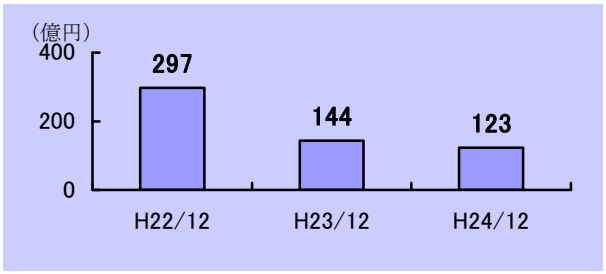
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比
基礎利益	1,085	157 増 (17.0%増)	430	15 増 (3.6%増)	539	132 減 (19.7%減)	115	275 増 (－)
逆ざや額	123	21 減	42	25 減	61	6 増	19	2 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、１，０８５億円、前年同期から１５７億円の増加。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、４３０億円、前年同期から１５億円の増加。
これは主に、逆ざやの減少による。
逆ざや額は、４２億円、前年同期から２５億円の改善。
これは主に、基礎利益上の運用収支が増加したことによる。

・**大同生命の基礎利益**は、５３９億円、前年同期から１３２億円の減少。
これは主に、前年同期には東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したことに加え、死亡保険金の支払が増加したことによる。
逆ざや額は、６１億円、前年同期から６億円の増加。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、１１５億円、前年同期から２７５億円の改善。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が前年同期の繰入から戻入となったことによる。
逆ざや額は、１９億円、前年同期から２億円の改善。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	Ｔ＆Ｄホールディングス		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	―	―	738.0%	9.3pt 低下	977.0%	125.1pt 上昇	570.7%	17.0pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	859.4%	48.8pt 上昇	743.8%	15.2pt 低下	984.2%	125.9pt 上昇	―	―

（注）Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**連結ソルベンシー・マージン比率**は、８５９．４％、前年度末から４８．８ポイント上昇。
これは主に、ソルベンシー・マージン総額が増額したことによる。

■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、７３８．０％、前年度末から９．３ポイント低下。
これは主に、資産運用リスク等の増加による。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、９７７．０％、前年度末から１２５．１ポイント上昇。
これは主に、ソルベンシー・マージン総額の増加、および資産運用リスクの減少による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、５７０．７％、前年度末から１７．０ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益によりソルベンシー・マージン総額が増加したことによる。

＜実質純資産（３社単純合算）＞

（単位：億円）

	Ｔ＆Dﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命(単体)	
	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減
実質純資産	15,461	1,684 増	6,758	982 増	7,331	634 増	1,022	61 増

（注）ＥＶ計算上の修正純資産は、グループが１兆1,686億円（前年度末比1,319億円増）、太陽生命が5,552億円（同751億円増）、大同生命が5,397億円（同492億円増）、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命が736億円（同75億円増）です。

■　**Ｔ＆Ｄホールディングス連結**

・**連結実質純資産**は１兆５，４６１億円、前年度末から１，６８４億円の増加。
これは主に、その他有価証券の評価差額の増加による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産**は、６，７５８億円、前年度末から９８２億円の増加。
これは主に、その他有価証券の評価差額の増加による。

・**大同生命の実質純資産**は、７，３３１億円、前年度末から６３４億円の増加。
これは主に、その他有価証券の評価差額の増加による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、１，０２２億円、前年度末から６１億円の増加。
これは主に、四半期純利益により純資産が増加したことによる。

＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減	当第３四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益（一般勘定）	5,035	1,171 増	3,320	824 増	1,589	333 増	124	13 増
うち公社債	2,439	134 増	1,363	0 増	959	129 増	115	4 増
うち株式	1,275	294 増	860	211 増	405	73 増	9	9 増
うち外国証券	1,140	682 増	1,001	588 増	139	94 増	－	－
うちその他の証券	27	41 増	23	17 増	3	23 増	－	－
うち金銭の信託	1	4 増	－	－	1	4 増	－	－
うち買入金銭債権	151	14 増	71	6 増	79	8 増	－	－
土地等の差損益	161	2 減	△10	3 減	171	0 増	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

［平成２５年３月期通期業績予想］

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

平成 25 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。（平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。）

（単位：億円）

	平成２４年３月期実績	平成２５年３月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 （ 0.3%増）
経常利益	1,208	1,140	68 減 （ 5.7%減）
当期純利益	267	360	92 増 （34.5%増）

１株当たり年間配当金予想は２２．５円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２５年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命
経常収益	11,000 （217 減） （1.9%減）	8,400 （945 減） （10.1%減）	1,900 （703 増） （58.8%増）
経常利益	600 （6 減） （1.2%減）	530 （78 減） （12.9%減）	0 （23 増） （－）
当期純利益（△損失）	180 （68 増） （62.1%増）	190 （0 増） （0.2%増）	△10 （26 増） （72.7%減）

（注）括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２５年３月期通期見通し

平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率（%）		6.3 (−)	8.1 (0.1 ポイント上昇)	3.8 (0.6 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

２.新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

３.大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ)」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。(「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。)

新契約高　　：３兆 7,400 億円

保有契約高　：36 兆 4,500 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以　上